

3月21日開催のIMS 労使協議会において、 2023年賃金要求につき会社から満額回答を頂きました。

I. 支部大会報告

IMS 支部では、春の交渉にて会社に要求するにあたり支部大会を開催し、「2021年度春の交渉議案書（案）」の議案の審議をオンラインにておこないました。

1. IMS 支部大会開催状況

IMS 支部大会は、支部大会代議員の過半数を超える出席により成立しました。3月1日から10日にかけて実施したメンバーズ VOICE の期間において、メンバーのみなさまから頂いた声について会議内で共有をおこなったうえで、第1号議案、第2号議案についての審議をおこないました。

<IMS 支部大会議案>

- 第1号議案 2023年度賃金要求について（案）
- I. 2023年度社員月例賃金要求
 - II. 2023年度メイト社員月例賃金要求
 - III. 2023年度フェロー社員賃金要求
 - IV. 2023年度スペシャリティスタッフI 賃金要求
 - V. 2023年度スペシャリティスタッフII 賃金要求
 - VI. 2023年度エルダースタッフE I・E II 賃金要求
 - VII. 2023年度エルダースタッフE III 賃金要求
 - VIII. 2023年度エルダースタッフE IV 賃金要求
- 第2号議案 2022年度 労使通年協議の取り組みについて、ならびに、労働協約の新設および改訂について

<支部大会のようす>



写真左から、田中昭宏さん（本部副執行委員長）、濱さん

<IMS 支部大会の開催状況>

場所	日程	参加者数	第1号議案			第2号議案		
			賛成	反対	態度保留	賛成	反対	態度保留
Teams オンライン会議	3月13日（月） 13：00～	9名 ※議長含む ※議長は賛否同一の時のみ投票行動をおこなう。	8	0	0	8	0	0

三越伊勢丹システム・ソリューションズ支部 支部大会代議員：10名

Ⅱ. 労使協議会報告

支部大会での採決の結果を以て労使協議会を開催し、組合から2023年度賃金要求ならびにメンバーズVOICEを踏まえた意見を会社へ伝えました。

<三越伊勢丹システム・ソリューションズ労使協議会>

日時：2023年3月21日（火）15：00～

場所：Teams オンライン会議

出席者：（会社）箕輪社長、菅沼執行役員、関（則）部長、野中さん、宮脇さん、（組合）濱支部執行委員長、赤土支部書記長、藤本支部執行委員、前島支部執行委員、志賀（章）支部執行委員

1. 組合要求

支部大会において決議した通り、2023年春の交渉議案書の内容に沿って賃金要求をおこないました。加えて、メンバーズVOICEを踏まえた組合の意見として以下のように伝えています。

<会社へ伝えた意見>

【賃金要求について】

ベースアップの対応自体について感謝の声があった一方で、「物価上昇率に対する賃上げの幅をふまえると、今回の対応は十分とはいえない」という意見や疑問の声が多くあったことを伝えました。

【社員ロールレベル認定制度について】

自身の業務とロールがマッチしていないことによる評価への納得性の低さなどの課題は引き続き残っており、根本的な課題解決にむけて取り組む必要があることを改めて伝えました。

【社員評価制度改定について】

グループの取り組みである「本給と賞与の評価の分離」ならびにそれに伴う評価シート改定について、肯定的な意見が出ていることから、23年度ステージB・C・Ctへの導入に向け検討を進める必要性について伝えました。

【勤務地を問わない働き方について】

引き続き望む声が挙がっていることから、今後の拡大にむけた、運用状況の確認や制度の検討の取り組みを継続することを改めて伝えました。

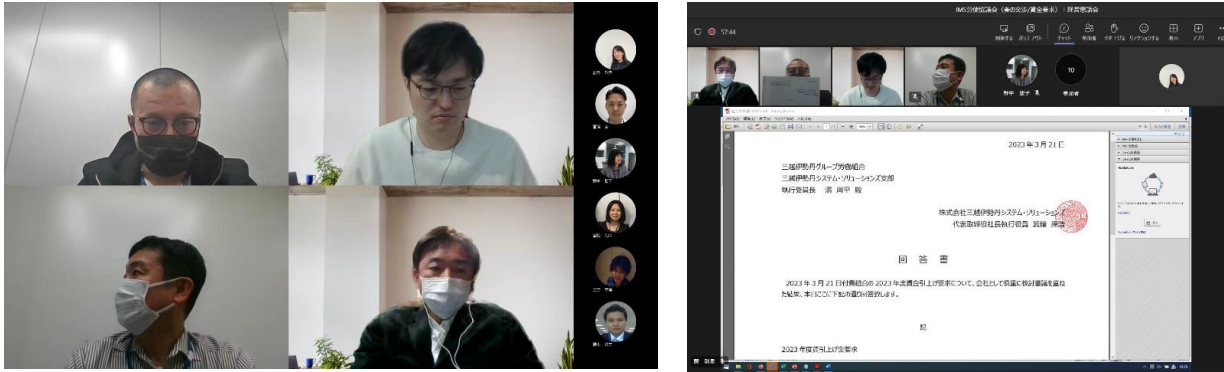
【60歳以降の働き方について】

エルダーの期待役割と実態の乖離について声が挙がっていることから、現状の整理をおこなうとともに、見合った制度についても検討をおこなう必要があることを伝えました。

2. 会社回答

賃金要求について、会社から満額で回答を頂きました。

<労使協議会のようす>



3. 会社回答にあたって、箕輪社長のおもなコメント

賃上げについては、メンバーに納得いただけない部分があることをふまつつも、現在の IMS の置かれている状況もあり、私も悔しいと考えています。報道をみていると、すごいな、と思う会社もありますが、その会社と何が違うのか、一つ言えることは、「元気ある企業は強い」ということです。そういう会社になるためには何が必要なのかを皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

今年度、我々のグループとしては、首都圏を中心に百貨店の売上が好調です。22年度は計画を上回る業績となる見込みです。中期経営計画は再生フェーズではありますが、これからの連邦戦略・まち化にむけて勢いのあるスタートダッシュができました。この好調を一過性のものにしてはいけないと考えています。

これからは個といかに繋がっていくかが大切で、CRM が重要視されています。IMS としては、21年度のシステム障害の反省をふまえ、22年度は待合室の仕組みの導入をおこなうなどの取り組みによって、サロシをはじめとする様々なイベントを乗り越えることができたと考えています。ほかにもインボイスなど、大規模な案件や収支構造改革についても取り組みを進めることができました。ありがとうございます。

一方で反省点もあります。その一つが、投資の実行状況の問題です。計画した投資を実施できないということは、将来獲得できる利益を逃しているとも言えます。数値の管理・見える化を行うことで、より戦略的かつ効率的に投資をおこなっていく必要があります。また、我々の業務を高度化していくにあたっては、障害発生時の対応を次に活かしていく点など、基本的なプロセスにおいても、まだまだ課題はあると考えています。

連邦戦略においては IMS でも収益を上げていかななくてはなりません。24年度はそう簡単ではない目標値を掲げており、売上や受注を獲得するためには、いろいろな案件を獲得していくことに更に力を入れる必要があります。それを進めることが「まち化」にも繋がっていきます。「まち化」においては、決済や金融ビジネスなどの話が上がっていますが、その中心にあるのはシステムであり、IT の力です。もちろん、連邦戦略においても IT の力は欠かせないものです。

今年度はグループの中期経営戦略において、改めて IT の力の重要性が高まった一年でした。来年度以降、みなさん一人ひとりがスキル・能力をどんどん高めていき、それによってみなさんの処遇がさらに高まっていくような方向へ、もっと元気で強い会社にしていきたいと考えています。

今年度も、ありがとうございました。来年度以降も、頑張っていきたいと思います。

4. 回答を受けて、濱支部執行委員長のコメント

早期に回答いただきありがとうございます。

今回の春の交渉においては、グループの現状についてメンバーの皆様にご理解を頂いていながらも、実質賃金が上がっていないということについて、厳しい意見を多数いただきました。これを踏まえて、現在会社が掲げているグループ戦略の達成に向けた取り組みや外部事業売上・利益の目標達成をした暁には、私たちの処遇がどうなるのか。この部分の道筋をつけたいと考えています。来年度以降に、IMS 支部組合として、メンバーがどう頑張れば、どのように処遇に反映がされるのか、制度化の検討を進めていきたいと考えております。労使で前向きに検討を進めていきたいと考えておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

他方、今年度は、ハラスメントについてのオンライン研修など、グループ他社がやっていないような、先進的な取り組みをおこなうことができました。またコミュニケーション改善においても、上位職の方々とのかみ細かなコミュニケーションが増えてきたと感じています。これらの組織風土改善の取り組みにおいて、IMS の魅力度を高めていく活動は着実に進んでいると感じています。取り組みいただき本当にありがとうございます。

このように賃金面だけでなく、働き方改善・組織風土改革についても、IMS 労使では積極的な改善を進めている状況であり、そのような取り組みの現状について、メンバーの皆様にご正しく理解いただけるよう IMS 支部としてこまめに継続的な発信をおこないます。

引き続き、総合的な労働条件の改善に向けてご協力をお願いいたします。本日はありがとうございました。

以上